

第10回印刷産業環境優良工場表彰応募票
 ー第1次審査用ー

平成 年 月 日

社団法人日本印刷産業連合会
 会長 猿渡 智 殿

応募者：所在地
 会社名
 代表者名 印

所属団体	(社)日本グラフィックサービス工業会	代表者名	
会社名		回 答 者	所属
応募工場			氏名
応募工場			電話
所在地			Mail
用途地域(いずれかに○)	工業専用・工業・準工業・商業・ その他 ()	工場操業 年月	年 月
従業員数 (該当する ものにそれ ぞれ○)	会社全体 (アルバイト・パート等含まず)	応募工場 (アルバイト・パート等含む)	
	1～19人 20～49人 50～99人 100～299人 300～499人 500～999人 1000人以上	1～19人 20～49人 50～99人 100～299人 300人以上	
主な工程 (該当するも の全てに○)	製版・刷版 オフ枚葉印刷 オフ輪印刷 フォーム印刷 光沢加工 仕上げ工程 (製本・折り・製函・抜き・断裁・スリッター・製袋・コレクター) シール印刷 グラビア印刷 (ラミネーション含む) スクリーン印刷		
主な製品			

次頁以降もご回答の上、本応募票をFAXで下記までご送付下さい。

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町7-16
 社団法人日本グラフィックサービス工業会 並木
 (お問合せ電話 03-3667-2271)

FAX:03-3661-9006 namiki@jagra.or.jp

<締切 平成23年4月15日必着>

本応募票は、印刷産業環境優良工場表彰制度に応募するためのものです。本応募票記載内容について厳正・公平に審査し、環境配慮に優秀な工場には第2次審査のための応募票提出についてご連絡いたします。

貴工場につきまして、下記設問に対し該当するもの全てに○を付けてご提出下さい。

なお、本応募票の選択肢は、会社の規模、業種、該当工程等を考慮せず、対策として考えられるものを網羅的にあげています。貴工場として本来対策の必要のないもの、規模的に困難なものも入っておりますので、該当箇所のみ○をつけていただければ結構です。

選考は、会社の規模、業種、該当工程、操業年数等を考慮して行われます。

1. 貴工場で行っている次の基本的環境配慮について、現在までに行っているもの全ての記号に○を付けて下さい。(後の選択肢と重複有り)

- (ア) 事務所等からの排出物の分別・リサイクル (イ) コピー用紙等の裏面利用
(ウ) 封筒の再利用 (エ) 照明・空調・水道等の省エネ(掲示等)
(オ) 古紙のリサイクル (カ) 共通パレットの利用 (キ) アイドリングストップ掲示
(ク) 環境方針の策定・掲示 (ケ) 工場周辺の清掃 (コ) 構内緑化

2. 貴工場の環境配慮のうち、現在まで周辺環境対策(法的等対策を中心に)で行ったもの全ての記号に○を付けて下さい。[]内はいずれかに○、< >内はその他があればご記入下さい。

①大気汚染防止関連

*「製版・刷版」あるいは「仕上げ工程」のみの工場は回答する必要がありません

- (ア) VOC処理装置の導入[処理方法は? : 回収・燃焼] (イ) 水性インキ化
(ウ) UVインキ化 (エ) 水なし印刷 (オ) 湿し水のIPAレス化 (カ) 溶剤・洗浄剤の容器蓋取り付け (キ) 自動洗浄作業(クローズ化や浸込み布使用) (ク) 無溶剤型ラミネーターの設置 (ケ) VOC拡散防止カーテン設置 (コ) インキパンカバー
(サ) 無溶剤型光沢加工機の設置 (シ) UV塗料化 (ス) PP貼りサーマルフィルム化
(セ) 焼却炉の撤廃 (ソ) 燃料転換[現在の使用燃料は? : A重油(特A含む)・B重油・白灯油・LPG・LNG] (タ) NOX・SOX発生抑制対策
その他< >

②水質汚濁防止・土壌汚染防止関連

*「仕上げ工程」のみの工場は回答する必要がありません

- (ア) 水濁法特定施設(製版、刷版装置)の廃水処理装置設置[排水の放流先は? : 河川・下水道] (イ) 排水のクローズドシステム導入 (ウ) 廃液保管場所の防液堤設置
(エ) 事故対策(土嚢等の配備) (オ) 油水分離装置設置
(カ) 生活排水(単独/合併浄化槽)処理 (キ) 下水道排水の水質測定
(ク) 土壌汚染対策[内容は? : 地下タンクの漏えいチェック・地面への浸透防止床・廃棄物置き場の屋根付き化・その他 _____]
その他< >

③騒音・振動防止関連

* 「製版・刷版」のみの工場は回答する必要がありません

- (ア) 敷地境界の騒音・振動測定 (イ) 建物への遮音材・吸音材施工 (ウ) 無窓化
 - (エ) 二重窓化 (オ) 機械への防音カバー (カ) 遮音カーテンの設置 (キ) 防振対策
 - (ク) 送風機／ダクトの消音対策 (ケ) コンプレッサー対策 (コ) 夜間作業の禁止
 - (ク) 電動フォークリフト採用 (シ) 騒音防止手順書とチェック実施
- その他< >

④悪臭防止関連

- (ア) 敷地境界臭気確認(定期パトロール) (イ) 消臭装置導入 (ウ) 排ガス処理装置導入
 - (エ) 排出口での臭気測定 (オ) 水性表面加工剤の採用 (カ) 水性インキの採用
 - (キ) UVインキの採用 (ク) ホットメルト油煙処理装置設置
- その他< >

⑤廃棄物管理関連

- (ア) 廃棄物分類の文書化と実施 (イ) 廃棄物処理業者との契約 (ウ) 廃棄物業者への視察
 - (エ) 有価物(古紙等)業者との契約 (オ) マニフェスト照合確認
 - (カ) マニフェスト交付状況の報告(年1回行政へ報告) (キ) 廃棄物保管場所の掲示
 - (ク) 特別管理産業廃棄物対策 [次のそれぞれのいずれかに○:特管物→有・無、
管理者→有・無、保管場所→施錠有り・施錠無し] (ケ) 事故対策(土嚢等の配備)
- その他< >

⑥その他対策

- (ア) 地盤沈下対策 (イ) 景観の配慮 (ウ) 構内緑化の推進 (エ) 屋上緑化の推進
 - (オ) 電波障害対策
- その他< >

3. 貴工場の環境配慮のうち、現在まで広域的環境対策を行ったもの全ての記号に○を付けて下さい。[]内はいずれかに○、< >内はその他があればご記入下さい。

①地球温暖化防止関連

- (ア) 省エネ活動の掲示(電気、照明) (イ) エネルギー使用量の経年把握
 - (ウ) 使用エネルギー量目標設定 (エ) 燃料の代替化(重油から都市ガス化等)
 - (オ) 照明の人感センサー導入 (カ) 省エネ照明導入 (キ) 省エネ空調設備導入
 - (ク) 照明・空調施設の節約管理 (ケ) オフィス使用機器の省エネ化
 - (コ) 自動車燃料使用削減策 (ク) アイドリングストップ掲示 (シ) 低公害車使用
 - (ス) 製造機械・設備の省エネ化 [内容は?:インバータ採用・圧縮エア集中管理・局所空調導入・廃熱再利用(グラビア印刷/オフ輪印刷用)・その他_____]
 - (セ) 太陽光発電装置(太陽光パネル等)導入 (リ) グリーン電力証書購入
 - (タ) ピークカット (チ) デマンド・コントロール (ツ) 省エネ診断実施
 - (テ) カーボンオフセットへの取組 (ト) カーボンフットプリントへの取組
- その他< >

②環境汚染物質削減・化学物質関連

- (ア) 製版フィルムレス化 (イ) 水なし印刷導入 (ウ) 湿し水IPAレス化
 - (エ) IPA濃度管理 (オ) 洗浄剤の環境配慮(塩素系、フロン系からの代替使用)
 - (カ) PRTTR法対象物質(ジクロロメタン、トルエン、キシレン等)からの切替
 - (キ) RoHS等への対応 (ク) 水性タイプインキ・接着剤への切り替え
- その他< >

③省資源、持続可能な資源利用関連

- (ア) 印刷見本デジタル化 (イ) デザインデジタル化 (ウ) デジタル原稿入稿推奨
 - (エ) 校正のデジタル化(平台校正機、本機等による校正紙印刷の削減)
 - (オ) 植物油インキ・大豆油インキへの切り替え (カ) 植物由来フィルムへの切り替え
 - (キ) 被印刷体の薄葉化・薄肉化 (ク) 版改良によるインキ・溶剤の使用量削減
 - (ケ) 節水管理 (コ) 作業・設備改善によるロスの削減 (サ) 通い函の利用
- その他< >

④3Rの推進関連

- (ア) 再生紙の積極的利用 (イ) 損紙の削減 (ウ) 予備紙の削減 (エ) 損紙等の紙へのリサイクル(古紙の細分類化) (オ) 剥離紙、抜きカス、損紙等のRPF化
 - (カ) フィルム等廃プラ(PPバンド、ストレッチフィルム)のリサイクル
 - (キ) インキ缶のリサイクル (ク) インキパイピングシステム (ケ) インキの再利用
 - (コ) 製品のリサイクル容易化推進(複合材の見直し等) (サ) 溶剤の再利用
 - (シ) ソルベント(洗浄剤)のリサイクル (ス) 排気ガス等回収溶剤のリサイクル
 - (セ) 詰替え容器化 (ソ) 容器の再利用 (タ) 紙管の再利用
 - (チ) レンタルウェス・再生ウェスの使用 (ツ) 包装材の再利用(ワンプやダンボール等)
 - (テ) 再生包装材(ダンボールや再生PPバンド)の利用 (ト) 過剰包装の排除
 - (ナ) パレットの修繕・再利用 (ニ) ゼロエミッションの達成
- その他< >

⑤その他

- (ア) ペットボトルキャップ回収 (イ) 使用済みプリペイドカード回収 (ウ) プルタブ回収
- その他< >

4. 貴工場の環境配慮のうち、現在まで環境経営上の対策で行っている全ての記号に○を付けて下さい。< >内はその他があればご記入下さい。

①環境負荷改善活動関連

- (ア) 適用される法規制の把握 (イ) 遵法チェックシステム維持
 - (ウ) 環境負荷(電力、燃料、廃棄物)数値把握 (エ) 環境負荷低減目標設定
 - (オ) 環境方針策定 (カ) 環境配慮資機材購入方針策定
 - (キ) 環境配慮資機材購入実績把握 (ク) 日印産連自主行動計画参加
 - (ケ) 国内クレジット制度への参加 (コ) 森林保全活動への参画
- その他< >

②グリーン製品等関連

- (ア) 印刷製品の環境配慮基準策定 (イ) 環境配慮印刷製品の提案
- (ウ) G Pマーク表示 (エ) クリオネマーク表示 (オ) バタフライマーク表示
- (カ) リサイクル対応型印刷物の推進 (キ) F S C表示 (ク) P E F C表示
- (ケ) オリジナルグリーン製品の開発 (コ) オリジナルグリーン製品の販売
- その他<

>

③環境情報の公開

- (ア) 環境報告書の発行 (イ) C S Rレポート発行
- (ウ) 環境方針等ホームページでの公開 (エ) 環境関連広報誌等の外部発行
- その他<

>

④社内体制

- (ア) 環境委員会（活動の組織表、責任者、事務局等）等の設置
- (イ) 5 S活動の推進 (ウ) 環境教育の推進
- その他<

>

⑤周辺住民等に対する活動

- (ア) 工場周辺の清掃 (イ) 工場の公開・見学会
- その他<

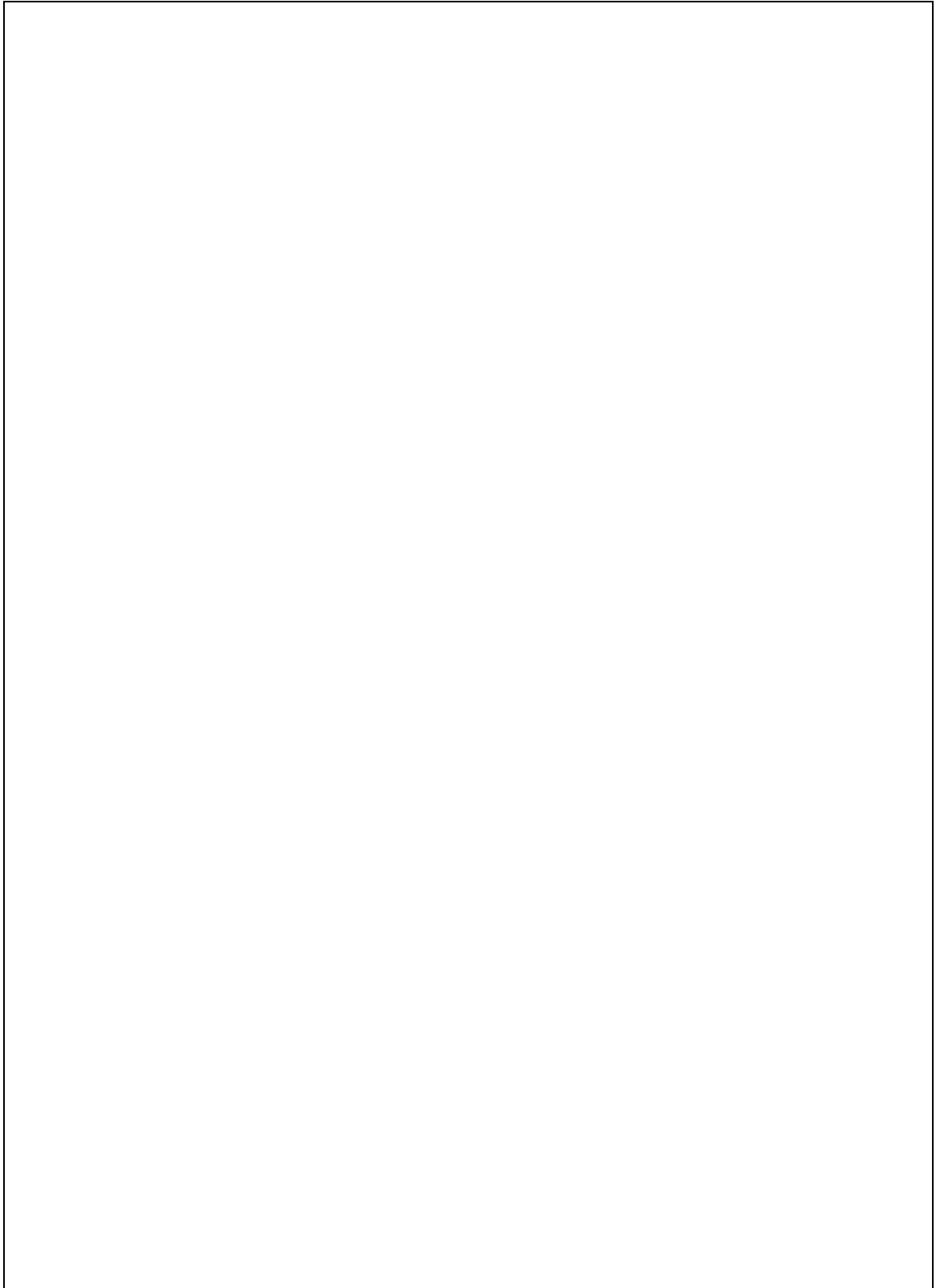
>

5. 貴工場の環境認証等の取得状況について、該当の記号全てに○を付けて下さい。

- (ア) I S O 1 4 0 0 1（環境マネジメントシステム）認証登録
- (イ) グリーンプリンティング工場認定
- (ウ) エコアクション21認証登録
- (エ) クリオネマーク認証登録
- (オ) バタフライマーク登録
- (カ) 化学物質管理認証（CMS）
- (キ) F S C（C o C）認証
- (ク) P E F C（C o C）認証
- (ケ) 地方自治体の「環境マネジメントシステム」認証登録
- その他<

>

6. 印刷産業環境優良工場表彰の応募に関し、アピールしたい点を自由にご記入下さい。



－以上です－